



実習・臨床
で役立つ!

本人
視点

から学ぶ

高齢者看護

実習中の食事や排泄の援助、臨床でのせん妄などへの対応が高齢者の視点からどのように見え、聞こえ、そしてどのような気持ちになるのか、高齢者の一人称視点の映像を通して学ぶことができる番組です。高齢者の加齢変化や心理的ニーズの理解を深めることで、転倒・転落予防や高齢者の残存機能を活かす高齢者看護の実践を考えることのできるシリーズです。



NEW DVD ■全2巻 ■各巻価格 ¥28,000(税込 ¥30,800) ■監修:鈴木 みすえ
■セット価格 ¥56,000(税込 ¥61,600) 浜松医科大学 医学部看護学科 教授

VOL.1 実習でよくある事例編

41分 NEW



■原案:内藤 智義 聖隷クリストファー大学 看護学部 看護学科 准教授 / 金盛 琢也 浜松医科大学 医学部看護学科 講師 / 稲垣 圭吾 浜松医科大学 医学部看護学科 助教

・第1巻では、実習中に学生がよく行う、検査の説明や食事介助、排泄介助を高齢者の一人称視点の映像を交えて見ていきます。加齢変化などによる見え方や聞こえ方、介助

の一例を映像で見ることで、より適切な高齢者看護へとつながることができます。

VOL.2 臨床でよくある事例編

36分 NEW



■原案:金盛 琢也 浜松医科大学 医学部看護学科 講師 / 内藤 智義 聖隷クリストファー大学 看護学部 看護学科 准教授 / 稲垣 圭吾 浜松医科大学 医学部看護学科 助教

・第2巻では、急性期混乱やせん妄などを取り上げ、臨床で何気なく行っているケアや対応が高齢者の一人称視点では、どのように見えているのか解説し、高齢者の気持ちに沿った看護実践を考察することができます。

© 2023



認知症高齢者の看護 パーソン・センタード・ケアの視点

『認知症高齢者の看護の視点が変わります!』

超高齢社会を迎えた今、認知症高齢者の尊厳を守るケアが求められています。その答えの一つが、認知症ケアの考え方「パーソン・センタード・ケア」です。このDVDは、認知症高齢者の看護の実践でよく起こる事例を見て学び、事例の後のQuestionを考え、そして解説を見ることで、認知症高齢者の看護の考え方であるパーソン・センタード・ケアの視点を深めることができます。看護学生の方は、「認知症高齢者の看護」を学ぶ教育教材として、また看護師の方は、自身の看護を振り返り、より良いケアにつなげる研修教材としてご活用ください。



■原案監修:鈴木 みすえ 浜松医科大学 医学部 看護学科 教授
■学術協力:水野 裕 いまいせ心療センター 認知症患者センター長 / 吉村 浩美 聖隷三方原病院 総看護部長 / 島橋 誠 日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 認知症看護学科 主任教員 / 鈴木 智子 磐田市立総合病院 認知症看護認定看護師 / 梅原 里美 高崎健康福祉大学看護実践開発センター 専任教員 / 朴 信江 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 次長 / 汲田 千賀子 同朋大学社会福祉学部 専任講師 / 上野 桂子 一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長 / 石原 哲郎 清山会 みはるの杜診療所 院長 / 水田 明子 浜松医科大学 医学部 看護学科 准教授
■撮影協力:浜松医科大学医学部附属病院 看護部 / 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園 / 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 介護老人保健施設 三方原ペテルホーム / 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 訪問看護ステーション細江 三方原

急性期病院編

全3巻

高齢者施設編

全2巻

VOL.1 コミュニケーションはとれていますか? 48分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
なぜ認知症高齢者は処置や検査を拒絶するような行動をとるのでしょうか。認知症高齢者の視点に立ったケアを行うことで、防ぐことができるものもあります。この巻では、肺炎で入院した認知症高齢者の事例を通してパーソン・センタード・ケアの視点に基づいた認知症高齢者とのコミュニケーションについて学び、いかに適切なケアへとつなげていくかを考えていきます。

VOL.2 看護の工夫をしていますか? 67分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
治療していることを忘れてチューブを外してしまうようなことが急性期の看護を困難にさせています。しかし、認知症高齢者の視点に立って看護を工夫することで、本人の苦痛を緩和し、このような困難な状況を予防することができるものもあります。この巻では、大腿骨骨折の親血的整復固定術を受けた認知症高齢者の事例を通して、パーソン・センタード・ケアの視点に基づいた看護の工夫について学び、いかに適切なケアへとつなげていくかを考えていきます。また、せん妄と認知症についても解説します。

VOL.3 意思決定の援助をしていますか? 65分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
医療の場では自分自身が望む医療を受けられる、もしくは拒否する、つまり自分の意思で自分が望む医療を選択する「意思決定」が大切です。しかし認知症になると自分の意思を言語的に上手く表現できにくくなります。看護師は、認知症高齢者が望む医療を高齢者自身が理解し選択すること、「意思決定」ができるように支援することが望まれています。この巻では、認知症高齢者に起こりやすい課題として胃瘻造設の意思決定支援について、パーソン・センタード・ケアの視点に基づいて解説します。

VOL.1 適切な看護援助・生活援助ができていますか? 62分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
高齢者施設では、認知症高齢者の転倒・転落事故などさまざまな困難な課題があります。この巻では、介護老人保健施設での「転倒・転落」や「介護・医療的ケアの拒否」について、パーソン・センタード・ケアに基づいた考え方や具体的方法を学び、認知症高齢者の視点へとつなげることで生活の質を高めるよりよいケアの実践を考えていきます。さらに従来のケアを本人の視点に転換することで、ケアの実践から得られる満足感も高めていきます。

VOL.2 本人の意思やニーズをケアに反映していますか? 65分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
高齢者施設は、高齢者の生活の場となるため、本人の生き方や価値観を尊重し、ケアを提供することが大切です。この巻では、特別養護老人ホームでの認知症高齢者の「看護や介護への意思やニーズ」、また「看取り」について、パーソン・センタード・ケアに基づいた考え方を学び、認知症高齢者の視点やニーズに沿ったよりよいケアの実践を考えていきます。

訪問看護編

全1巻

VOL.1 本人と家族の支援ができていますか? 65分



認知症とは、パーソン・センタード・ケアの考え方(共通解説16分)
認知症高齢者の在宅での療養では、認知症の症状から、「薬の飲み忘れ」、「歩き回る行動」など、さまざまな問題が生じています。この巻では、在宅での認知症高齢者に生じやすい「服薬拒否」、「症状への不安」などへのかかわり方、また介護する家族への対応について、パーソン・センタード・ケアに基づいた考え方を学び、認知症高齢者の視点やニーズに沿ったよりよいケアの実践を考えていきます。

© 2015 ~ © 2018

制作著作



株式会社 医学映像教育センター <https://www.igakueizou.co.jp>

本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17 プライムコアビル TEL: 03-3329-1241 FAX: 03-3303-1434

関西営業所 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 511 TEL: 06-6150-3301



申し込みはコチラ!

まずは、「内容確認・検討」として
試写サービス(無料)をご利用ください!
お問い合わせ : 0120-377-189
[フリーコール]